

# 介護老人保健施設オアシス21

症 例 概 要 入所者：100歳代 女性 要介護度 3

病名：高血圧症、高脂血症、頸椎症性神経症

経 過 ：月当施設入所となる。生活施設と入所を繰り返しながら令和元年8月当施設複数回目の入所となり、生活リハビリを主に療養継続している。

## 内 容

東京オリンピックを鑑賞することを生きがいにしていた利用者さん。新型コロナウイルスの世界的大流行のため、オリンピックの延期が決まった昨年は気持ちの落ち込みが激しく、体調が悪化し、一時はADLの介助量が増大してしまいました。しかし、お誕生日をご家族揃ってのサプライズお祝いとしたことで、「来年も生きてオリンピックを見るよ!」と生きる希望を見出すことが出来ました。

その後は『少しでも自分で出来ることはしたい』とリハビリにも意欲的に取り組まれていました。ところが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、札幌でのマラソンも無観客での開催が決まりました。沿道での応援を楽しみにされていたのですっかり落胆してしまいました。

少しでも元気になって頂き、マラソンの応援を盛り上げられたらと考え、応援旗を作ることを提案しました。「応援グッズがあった方が盛り上がり良いね」と快く引き受けてくれました。当該利用者さんが旗づくりに励んでいるのを見た他の利用者さんも「みんなでオリンピックを応援したいね」と旗づくりを手伝ってくれました。当該利用者さんは応援団長の推薦を受け、オアシスオリンピック応援団が結成されました。

ご本人や他利用者さんの期待に応えるべく東京オリンピック開会式の上映会とマラソンの鑑賞会を行いました。開会式の様子はスクリーンに映して上映。ご本人は一番前の席で真剣な表情で鑑賞されていました。他利用者さんもお揃いの旗を持って鑑賞会に臨みました。ご本人は天皇陛下のご挨拶に感銘を受けていました。鑑賞会は温かい拍手で締めくくられました。

マラソン当日はいつもより早起きされた当該利用者さん。『勝ち負けに関係なく、頑張っている姿を見たい』・『札幌の街並みを見たい』と張り切っており、マラソンコースもしっかり予習されていました。「フー! フー! ニッポン日本!!」応援団長にふさわしく、一番大きな声で応援されていました。他利用者さんと一緒に応援出来て「いやー良かった」としみじみとコメント。

ご本人の挑戦はまだまだ終わりません。『来年の誕生日を元気に迎える』というもう一つの夢を叶えるべく、リハビリがお休みの日も毎日自主トレーニングに励んでいます。